

Healthcare Policy, Administration and Management



氏 名： 渡邊 亮 Ryo WATANABE

取得学位：博士（商学）（一橋大学）、公衆衛生学修士（専門職）（東京大学）

所 属：ヘルスイノベーション研究科（兼イノベーション政策研究センター）

研究分野：医療政策学，医療経営学，医療情報学，医療経済学

キーワード：KDB，EBPM，医療管理，BSC

取り組み内容

- ・ 公的医療保険制度に基づく保険請求データ（レセプト）を集積したデータベース（国保データベース；KDB、ナショナルデータベース；NDB）をはじめとした大規模データを二次利用して、根拠に基づく保健医療政策や医療機関の経営に資する分析・研究を行っています。
- ・ 政策立案や組織経営における「ゴール」を達成するための戦略や、その戦略を実行に移すための仕組みとしてのバランスト・スコアカード（Balanced Scorecard; BSC）の活用や効果に関する研究なども研究の対象です。
- ・ イノベーション政策研究センター(CIP)においては、神奈川県をはじめとした自治体と協働し、根拠に基づく政策立案(Evidence Based Policy Making; EBPM)の実現に向けた調査・分析などに取り組んでいます。

略歴

オハイオ大学(医療管理学専攻)卒業後、外資系病院コンサルティング会社勤務を経て、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻に進学。2011年同専攻を修了(公衆衛生学修士(専門職))。その後、一橋大学大学院博士後期課程に進学。医療における管理会計、特に医療機関におけるバランスト・スコアカード (BSC)の活用をテーマとして2015年3月同課程を修了(博士(商学))。東京医科大学助教、神奈川県庁を経て2018年に本学着任。2024年4月より現職。現在は、保健医療データを活用した医療政策・経営・経済研究を行っている。医療情報技師。

担当科目

Introduction to Healthcare Policy (SHI 修士)、ヘルスケア管理学(SHI 修士)、Life Design in ME-BYO Society(SHI 修士)、Public Health & Leadership(SHI 博士)、財務管理(実践認定看護管理者教育課程 サードレベル)、経営と質管理(実践認定看護管理者教育課程 サードレベル)、ほか

社会活動等

一橋大学社会科学高等研究院・客員研究員、神奈川県かながわ健康プラン21目標評価ワーキングチーム・委員、NPO 法人 Initiative for Social & Public Health・代表理事会長 ほか